

環境報告書

2024



環境方針

●基本理念

当社は、経営理念「エレクトロニクス技術をもって、人類の健康と安全に寄与し、情報通信分野に貢献する」に基づき、地球環境の保全が重要課題の一つである事を認識し、事業活動のあらゆる段階で、環境の保全に配慮して行動する。

●基本方針

- (1) 事業活動、製品及びサービスにおいて、ライフサイクル全体の環境負荷低減に対応する環境マネジメントシステムを構築し、社会的要求に応える。
- (2) 技術的、経済的に可能な範囲で、省エネルギー・省資源・廃棄物削減・有害化学物質削減、継続的改善に取り組み、汚染の予防に努める。また、生物多様性の保全に配慮する。
- (3) 環境関連法規及び会社が同意するその他の要求事項を順守し環境の保全と向上に努める。
- (4) 環境改善活動を実践するための環境目標を定め、その達成のため最善の努力をする。また継続的改善を図るため、環境目標は、定期的な見直しをする。
- (5) 環境方針を文書化し実行し維持する。全ての作業員に周知徹底するため、環境方針及び環境目標を記載した環境方針カードを作成し配布する。
- (6) 環境方針は、ホームページ等を通じ社外へ公表する。

上田日本無線株式会社

代表取締役社長

小林 真行

環境経営

●ISO14001

環境マネジメントシステムの国際規格である「ISO14001」の認証を事業所及び子会社で取得し、グループ全体で環境活動に取り組んでいます。（登録証番号：JQA-EM0531）

●当社の環境活動の歩み

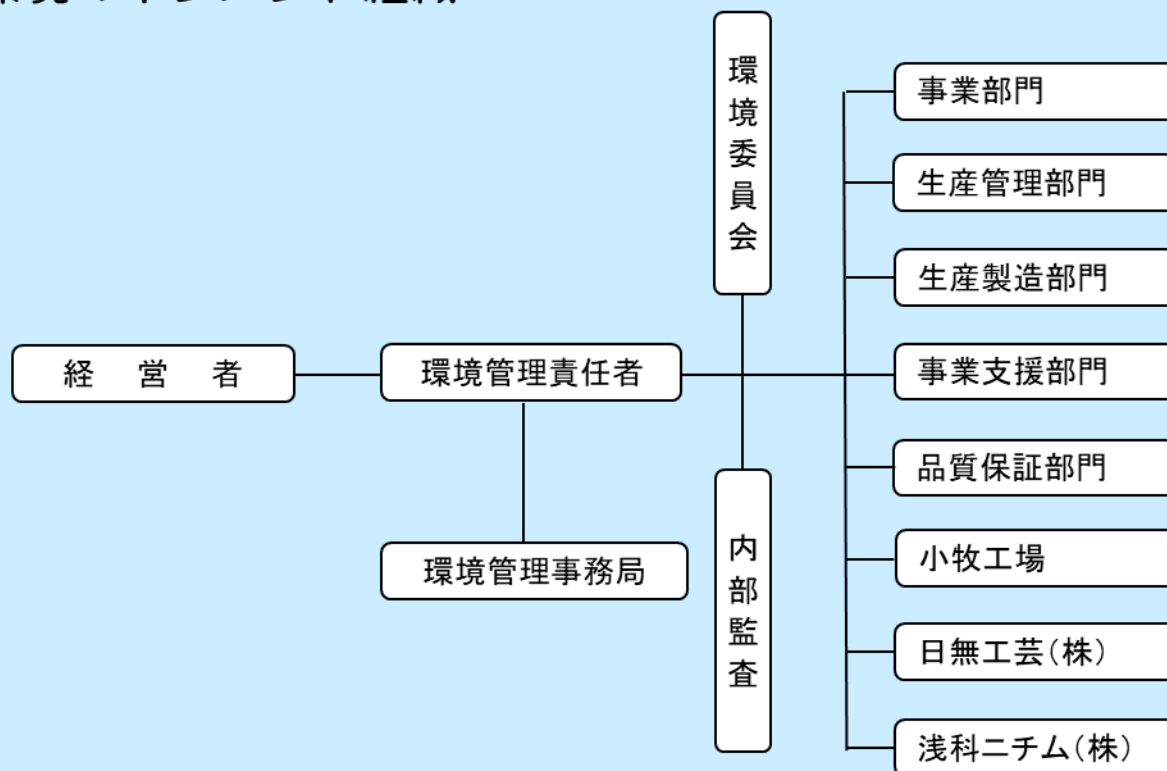
当社は1999年に（財）日本品質保証機構の審査を受けて認証を取得しました。

当初は本社工場と小牧工場及び子会社の日無工芸(株)でスタートし、2003年に浅科ニチム(株)を対象事業所として追加登録しました。

2017年の更新審査にて「ISO14001:2015」に移行し現在に至ります。



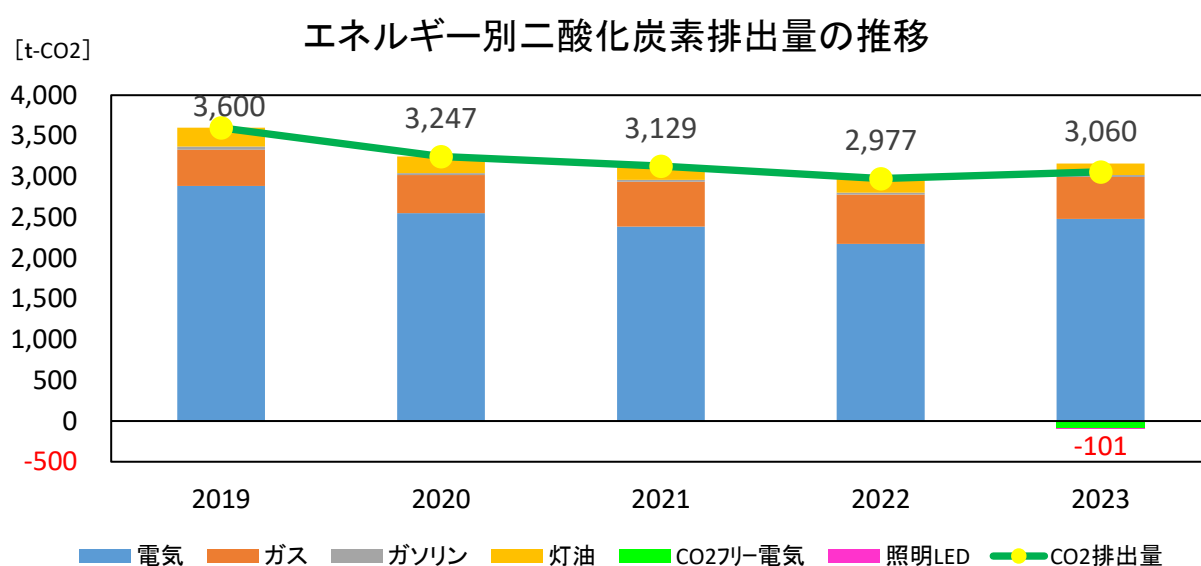
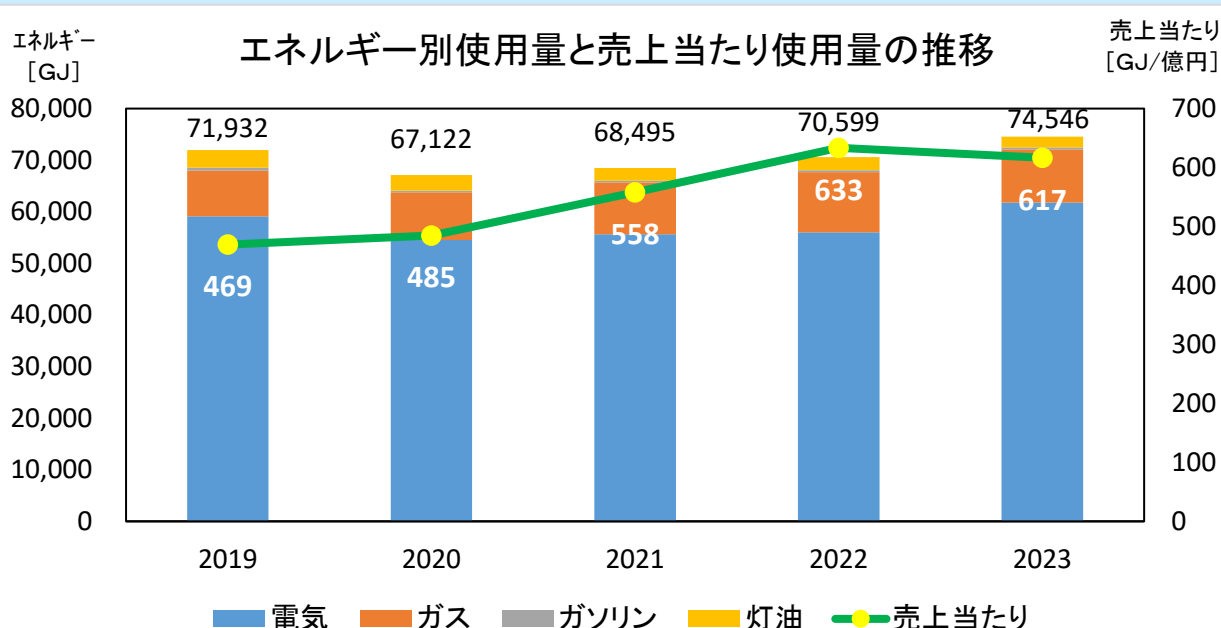
環境マネジメント組織



環境活動報告

●省エネ・地球温暖化

エネルギー使用量は、74,546GJ（前年度 70,599GJ）対前年比で3,947GJ 6%増加しました。温室効果ガス排出量は、3,060t-CO₂（前年度 2,977t-CO₂）対前年比で83t-CO₂ 3%増加となりました。

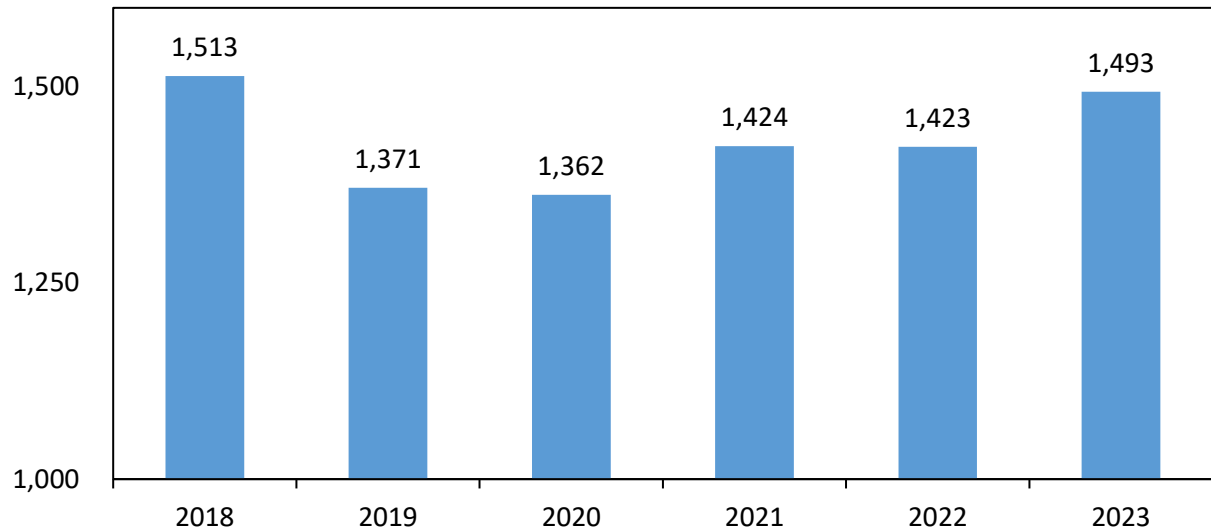


●省エネ・地球温暖化

原油換算エネルギー使用量は、2018年度 1,500KL を超過しましたが、2019年度より5年連続で 1,500KL を下回る状況で推移しております。

原油換算
エネルギー[KL]

原油換算エネルギー使用量推移



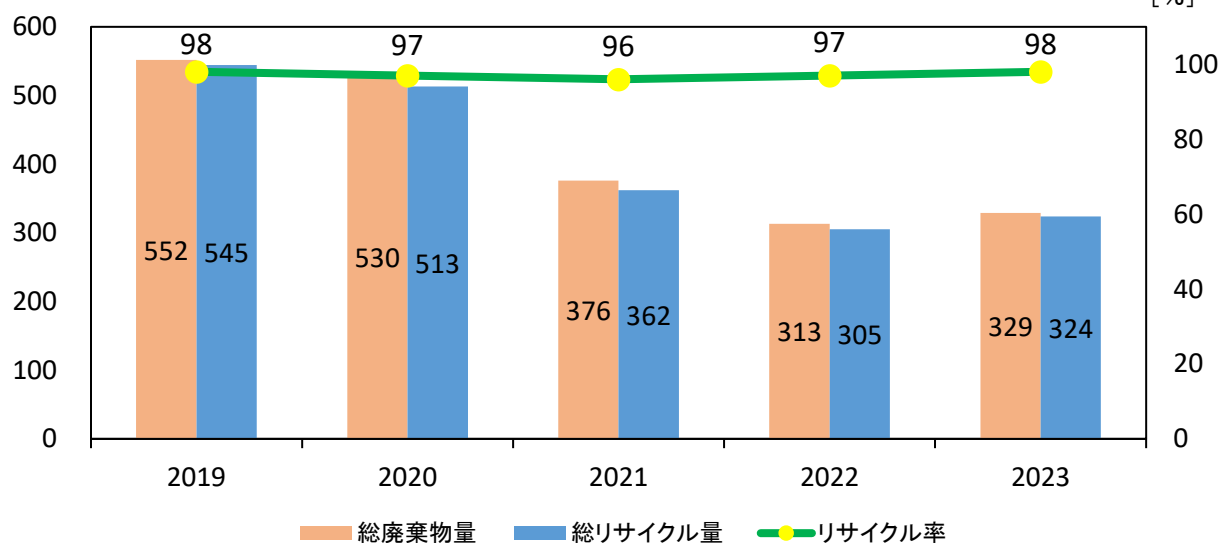
●リサイクル

リサイクル率は、プラスチックの3R推進により98%（昨年度 97%）と、昨年度より 1P アップとなりました。

排出量
[ton]

総廃棄物量、総リサイクル量とリサイクル率推移

リサイクル率
[%]



製品・調達の取組み

●グリーン調達ガイドライン

環境負荷の少ない製品・部品の調達（グリーン調達）の推進を図るべくグリーン調達ガイドラインを発行しております。最新は2023年7月発行の第6.4版となります。



取組み事例

●「にぎやかな森プロジェクト」に参画

地球環境保全に貢献する活動として、上小森林認証協議会および上田地域振興局と協定を締結し、「にぎやかな森プロジェクト」に参画しています。プロジェクトは、上田地域において行政や企業が一緒になり、「いきものや人でにぎわう地球にイイ森」づくりを目指し、森林整備、生物多様性やCO2吸収など林業課題の調査研究、交流活動や情報発信を行っています。

2023年5月27日に「UE 森（うえもり）2023～上田地域にぎやかな森づくり植樹の集い」が開催され、参加者総勢190名のうち当社からは17名が参加しました。植樹の仕方について説明を受け、カラマツの苗木2,300本を植樹しました。参加者からは、「緑が豊かな森の中、小鳥のさえずりを聞きながらとてもリラックスした環境で植樹でき良かった」などの声が聞かれました。参加することで、自然の有り難さを感じる良い体験となり、生物多様性や地球温暖化防止など地球環境保全につながる有意義なものとなりました。

引き続き豊かな森林づくりを支援し、生物多様性の保全に貢献していきます。

